

平成 30 年秋期 金沢南部地区推進連絡会

1 日時

平成 30 年 11 月 21 日(火) 18 時 00 分～19 時 30 分

2 場所

金沢町町内会館

3 参加者数 53人

(地域側) 自治会等地域団体関係 (支援チーム、その他行政側)	35人
区役所・市役所	13人
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	4人
消防署	1人

4 意見交換要旨

(1) 開会の挨拶

～省略～

(2) 出席者紹介

～省略～

(3) 概要説明

「住み慣れた地域で いつまでも元気に 暮らし続けるために」

資料に沿って、國原区長から説明。

- ・金沢区の人口は平成 30 年 2 月に 20 万人を下回り、高齢化率は上昇し続け市の平均より 4 ポイント高い。
- ・健康寿命は個々人が健康かどうか主観的に判断しているもの。健康寿命以降が不健康かという点必ずしもそうではないが、横浜市では健康寿命を延ばすために取組を推進している。
- ・認知症がクローズアップされているが、介護保険の認定要因第 1 位は転倒・骨折。第 2 位は脳血管疾患。ロコモ予防などが大事になってくる。
- ・取り組みやすく、介護保険の認定要因となる各病気に効果があるのがウォーキング。

(4) 前回議事録概要説明

～省略～

(5) グループワーク「災害時の課題について考えてみよう」

- ・グループワークの進め方について地区社協事務局 渡邊氏より説明。

今年は自然災害が多かった。普段から被害を想定した振る舞いを考えておく必要がある。津波による浸水被害やブロック塀の倒壊など地域の特徴や課題について、各自治会町内会の中で共通の認識を持っていただけると、いざという時に役に立つのではないかと思います。町内ごとにグループワークをお願いしたい。

<発表>

【寺前西町】

- ・古い家屋が少なくなってきたため倒壊の心配はなくなったが、細い道が多く災害時の避難経路が心配される。
- ・金沢八幡公園の周辺は海拔が低く津波が心配される地域のため、震災時には高いマンションに逃げてもらわなければならない。

【寺前東町】

- ・海側と山側に接している地域であり、海に近いという特性がある。
- ・大きい道路が東西に2本、南北に1本、計3本通っているが、災害時に車が道に停まると通れなくなる恐れあり。
- ・細い道が多数あり災害時に避難経路として利用できるよう、普段から住民に門の鍵をかけないよう住民に依頼しており、袋小路で通れなくなる道はない。
- ・一時避難場所は『まつかぜ公園』。文庫小学校の辺りは震災時に液状化が懸念されるため避難経路を確認しておく必要があると感じた。
- ・防災訓練を開催しても参加するメンバーがいつも同じ。各年代に訓練に参加してほしい。参加メンバーをどうやって幅広く募ることができるかが課題。

【金沢町】

- ・海拔が高い地域で一見恵まれているように見えるが、一部海拔1～2mの地域があり、一時避難場所にも遠い。
- ・山側の地域は土砂災害特別警戒区域となっている。
- ・メイン通りであるバス通りは災害時に渋滞してしまうと通れない。細い脇道があるが地震後に火災が発生すると通れないことが心配される。
- ・過去の震災における被災談の紹介
 - ◆まさか自分の住んでいるところで震災が起こるとは…と皆が言っていた。
 - ◆普段から顔の見える関係づくりが大切。
 - ◆食料品の備蓄をしていない人が多かった。
 - ◆時間の経過とともに課題が変化。防災訓練はしていてもいざとなったら役割がはっきりしていなかった。動ける人は皆本部役割を持つと良かった。

【柴町】

- ・海側に面しているとともに、山や埋め立て地もある地域。グループワークで災害時の地域の危険度について共通認識が持てた。
- ・津波ハザードマップで浸水予測区域にある地域がある。直接自分たちで確認し町内会の避難マップの作成が必要。

【マリンシティ】

- ・海に面している地域であり、災害対策への意識が高い。
- ・管理組合と自治会、民生委員の3者からなる防災対策委員会を設け、毎月第2土曜日に定例会を実施している。
- ・3.11（東日本大震災）の時にどんなことが起こったか防災対策委員会で小冊子を作成し、総括をした。
 - ◆マンションに自家発電の装置があるがガソリンスタンドが閉鎖し油不足のため、エレベーターが使えず、住民の安否確認のために14階を何度も往復して大変だった。その経験から両隣に安否確認をしてもらうようにした。
 - ◆安否確認で民生委員が訪問したところ、不安から民生委員を帰そうとしない方がいたため管理棟で保護した方もいた。
- ・潮干狩りで人が集っているときに震災が起きた場合マリンシティに大勢の人が避難してくる可能性が高い。その場合人道的に対応せざるを得ないため、その点が大きな課題。
- ・災害時の応急処置について住民の医師・看護師に相談をしたが、災害時は医師会・看護師会で集約して対応することになると断られた。潜在看護師を探そうか…との意見もでている。
- ・災害時のマリンシティの設備や対応について住民への周知方法を考えていく。

（6）閉会の挨拶

～省略～